



校長室の窓

ひたむきな掃除がつくる さわやかで美しい福栄小中学校

福栄小中学校は美しい学校だと思います。小学校の校舎は今年の3月に完成したばかりの新品です。中学校の校舎は20年前に建てられたものですが、全体的に美しい状態が保たれています。学校で過ごすみんなが、気持ちよく生活をするために、とても大切になるのが、毎日の掃除です。

今回は、チャレンジ目標「山口県一の福栄のみ・そ・あ・じ」の「そ」である掃除について、今の自分を振り返ってみてください。

□ すばやく掃除に取りかかっていますか？

掃除の時間は、後かたづけや反省会を入れてもたったの1.5分しかないのです。本当に限られた時間です。チャイムの合図で掃除場所へ移動するようでは、よい掃除ができるわけがありません。チャイムが鳴る前に時計を見て行動を起こしましょう。



□ 黙々と掃除をしていますか？

整美委員会が「黙ってそうじをしよう」ということを全校に呼びかけています。黙って掃除をすることそのものが目的ではありません。黙々と掃除に取り組まないと、心を集中させてよい掃除ができないから、掃除を黙ってやるのです。あなたのまわりにはいませんか？ 口は動いているが、ホウキを持つ手やぞうきんを持つ手が動いていない人が。あなたはどうか？

□ 自分から汚れた場所に近づいていますか？

自分から汚れた場所や、ゴミや落ち葉がたまっている場所、雑草がたくさん生えている場所を見つけ近づいていかないと、絶対により掃除はできません。汚れた場所を避け、逃げるのは、勉強でわからない問題から逃げるのと同じことです。自分の成長には全くつながりません。黒板の溝のチョークの粉、教室や廊下の窓のレールの汚れなどにも目を配ってください。トイレの便器も外側は、専用のぞうきんで磨いてください。掃除は「気づく目」と「感じる心」、そして「実行すること」が大切です。これは掃除だけのことではありません。他のことにもつながっていくことです。

□ 後かたづけをきちんとやっていますか？

集められたゴミや落ち葉などがそのままの状態になっていたり、ホウキなどの掃除道具がほったらかしになっているのを時々見かけます。後かたづけまできちんとやって、初めて掃除が終わるのです。使ったぞうきんもきちんと伸ばして干しましょう。掃除道具を大切にしない人は、よい掃除はできません。



みんながひたむきに掃除に取り組むことで、さわやかで美しい福栄小中学校になるのです。ひたむきに掃除に取り組めば、窓ガラスを磨くのと同じで、自分自身の心の汚れもきれいに落ちてピカピカです。1学期も残りわずかとなりました。縦割り班で協力して掃除でいい汗を流し、1学期をしめくくりましょう。